

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 28名回答、回答率 82 %

職員の意見

○環境・体制整備

人員体制に関しては基準以上の人員を配置できている。利用者の特性によっては個別に近い対応が必要になることもあるため、事前MTGでの状況予測や動線の工夫を行い、丁寧な支援が提供できるように対応していきたい。よりよい環境を作るため事務局とも連携して工夫を行い、引き続き構造化に取り組んでいく。

○業務改善

教室全体では、ミーティングの充実や、集団活動・専門的支援、個別課題の検討などが昨年度より力を入れることができた。業務も昨年に比べると効率よく取り組むことができた。今後も引き続き改善に努めるとともに、上長のみで検討するのではなく、職員が個々に業務効率の意識を高められるように力を入れていく。

○適切な支援の提供

研修実施・活動プログラム作成は常勤職員が中心となり適切に対応出来た。個別支援の意識向上にも力を入れて取り組むことが出来たので、引き続き拡充したい。業務前・業務後ミーティングに力を入れ、支援につなげることができた。地域との交流については、近隣店舗への課外活動は行えたが、地域の児童館や他の子どもとの交流にはいたらず、課題が残った。

○関係機関や保護者との連携

日頃から送迎時など直接児童の状況を伝え合い、問題の共有・検討やアドバイスができていく。葛飾区の放デイ連絡会にも定期的に参加し、連携が取れている。学校や他事業所等との連携については不十分な面があるため、保護者の意向も踏まえて充実させていきたい。

○保護者への説明責任等

契約前後に丁寧な説明をするほか、変更時や質問があればその都度説明に努めている。保護者会はオンラインも利用して開催し、療育参観も企画した。今後は、実施回数を増やしたり他の方法も検討していきたい。情報の周知方法についても、検討していきたい。

○非常時等の対応

緊急時の対応についてマニュアルはあるが、保護者への周知に課題が残る。教室職員内での訓練・情報共有や方針の共有はできている。昨年度より実践的に訓練ができたが、実際の場面で対応ができるよう、工夫して訓練・準備を実施できるようにしたい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているかの問いに対して、87%の方に「はい」とお答えいただいた。「空間を分けられたり、控えのスペースがあるとよい」「お迎え時に狭い玄関で複数名が順番待ちでその日どうだったかのフィードバックと連絡事項などのやりとりが耳に入る状態。情報伝達の配慮には欠けていると感じます。」という意見もいただいた。

○適切な支援の提供

専門性のある支援・個別支援計画について、また活動プログラムについては95%の方に満足いただけている結果であった。「安心して活動に参加できている」「教材づくりや活動内容に多くの工夫が感じられ、その丁寧さに毎回感動しています。」という回答をいただいた。「放課後クラブ等との交流」については「希望しない」という意見もいただいた。

○保護者への説明等

支援内容・利用者負担の説明、児童の状況・課題の共有、共感的な支援について、9割以上の方に良い評価をいただいた。「いつも子供の様子を詳しく教えていただき、お互いに情報共有しながらサポートしていただいています。」という回答をいただいた。保護者の交流について、39%の方が「どちらともいえない・分からない」との回答だった。交流の機会やその周知が不足している可能性がある。

○非常時等の対応

非常時等マニュアルの周知・訓練について、8割の方に適切に対応しているとの評価をいただいた。

○満足度

91%の方に「安心感をもって通所している」「通所を楽しみにしている」「支援に満足している」とお答えいただいた。また、「外遊びの日も取り入れてもらいたい」という意見もいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・教室環境や集団療育・個別課題の検討に引き続き取り組み、支援力の向上を図る。
- ・保護者会を定期的に開催し、対応についての透明性を担保するとともに、保護者同士の情報交換・交流ができるようにする。
- ・より実践的な避難訓練を行い、災害時対応についてお便りにまとめ利用者に分かりやすい形で共有する。
- ・個別支援計画に沿った支援が確実に実践できるように、研修や事例検討をより充実させる。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・教室環境の整備がなかなか進まなかった。他部署と連携して対応を進めたい。集団療育・個別課題への対応は進めることができたので、更に充実させていきたい。
- ・保護者会を7月・2月に開催した。保護者のニーズに合わせて方法を検討しながら実施したい。
- ・より細かい状況の想定をし、避難訓練の対応ができた。災害時対応に関するお便りの配布を今年度中に行い、保護者の方への周知の改善を図りたい。
- ・ミーティングで職員の意見を確認しながら事例の検討ができた。支援力向上のため、さらに力をいれて取り組みたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・「放課後等デイサービス計画」が適切に作成されており、利用時に提供する支援内容の説明が事前に丁寧に行うことができている。
- ・送迎時等の保護者とのやりとりを密にすることで、保護者と職員間で児童に対する共通理解が図れており、専門性のある支援が行えている。
- ・ミーティングで児童に対する情報を共有し、集団療育ではすべての児童が参加できるように工夫し、視覚的な支援が出来ている。個別課題の作成や対応にも力を入れている。

○改善点

- ・教室スペースの見直し、構造化を進めたい。
- ・保護者同士の連携を図る機会が少ないため、保護者会やそれ以外の場を設けることを検討する。
- ・すべての利用者が安心して利用いただけるよう、情報伝達の配慮について検討したい。
- ・送迎を行っていない学校との情報共有が不足している。情報共有を行う機会を積極的に作り、連携していきたい。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・壁紙や床・窓の改修等、基本的な環境整備に努め、整備状況や児童が設備をどのように利用しているかを保護者に共有する。
- ・児童が主体的に活動できるように、構造化を進め、それぞれの児童の特性に配慮できるように検討していく。
- ・利用者が安心して利用できるよう、積極的な情報開示の場や機会を設けて、透明性の高い事業所運営を目指していく。
- ・情報伝達の配慮について、すべての利用者が安心して利用していただけるように、対応方法を改善する。

○1年間で取り組む具体策

- ・他部署と連携して、お迎えの際の保護者対応スペースを作る、床や壁紙の修繕を進めるなど、整備を進めていく。またヒヤリハットを活用して月1回程度事例検討を行い、怪我や事故が起こりづらい環境作りに努める。
- ・運営にあたっての基礎知識や指導力向上のため事例検討や研修を行う。
- ・教室環境や集団療育・個別課題の検討に引き続き取り組み、個別支援計画に沿った支援を確実に実践する。
- ・保護者会を定期的開催し、教室の対応について知っていただく機会を設けるとともに、保護者同士の情報交換・交流ができるようにする。
- ・より実践的な避難訓練を行い、災害時対応についてお便りにまとめ利用者に分かりやすい形で共有する。

スマートキッズ